



世界遺産を活用した市民協働によるまちづくりについて

伊勢崎市 企画調整課 街づくり推進係

伊勢崎市では、田島弥平旧宅を活用した市民協働によるまちづくりを推進するため、境島村まちづくり推進会議及び同女性部会を開催しています。同会議では、帝京大学経済学部観光経営学科の大下茂教授にもご協力をいただきながら、来訪者へのおもてなし対応に向けたさまざまな意見交換が行われています。

今回は、これまで検討してきた内容について、実際に境島村を訪れた来訪者からのご意見をいただくため、大下教授のゼミ生にご協力をいただき、9月10日にモニターツアーを開催いたしました。モニターツアーでは、境島村及び境町駅周辺のまち歩きを実施した後、ワークショップ形式の会議で、モニターツアーの良かった点や改善点について意見交換が行われました。意見交換では、「来訪者の年齢層に合ったガイドをするべき」などの改善点が挙げられ、今後のおもてなし対応を考える上での貴重なご意見をいただきました。

本市は、今回のモニターツアーの結果を踏まえて、9月26日に同ルートを巡る女性部会(団体ヒアリング)を開催いたしました。これらのモニターツアーや団体ヒアリングで得られた幅広いご意見を基に、来訪者のニーズに合ったおもてなしができるよう、今後も地元の皆様と協働でまちづくりを推進していきたいと考えております。



まち歩きの様子(田島弥平旧宅にて)



ワークショップの様子(意見交換)



ワークショップの様子(意見発表)



『歩きたくなるまち・小幡』の実現に向けた甘楽町の取り組みについて

甘楽町 振興課 都市計画係

「甘楽町観光まちづくりワークショップ」による官民協働のまちづくり

町では、大下茂帝京大学教授を甘楽町まちづくりアドバイザーに迎え「歩きたくなるまち『小幡』で文化をプロデュースする」をテーマに、平成23年度より甘楽町観光まちづくりワークショップを実施しています。

初年度は、町職員で構成するワーキンググループにより、来訪者に“ゆったりとした時間旅行を楽しんでいただけるよう”な受け皿づくりを進めるべく、観光まちづくりに関する講座のほか、集客施設の魅力向上に向けて現地踏査を行い、少しでも長く滞在したくなるような施設へと磨きをかけるための検討を行いました。



町職員によるワークショップの実施

2年目からは、職員ワークショップに加え、「観光案内の会」「楽山園友の会」「商工会」といった地域づくりを支えている住民団体を対象とした「地域めぐり」や「食の開発」といったテーマ別ワークショップも展開してきました。

地域めぐりでは帝京大学の学生にも協力をいただき、観光案内(まち歩き)の実践等を通じた意見交換により、若年層を呼び込むアイデアや情報発信手段などハード・ソフト両面における様々な課題の洗い出しができました。

観光まちづくりワークショップ最終年度となる今年度は、観光まちづくりプラン骨子に基づいて具体的な取組内容を検討し、これまでの集大成として『甘楽町観光まちづくりプラン』を策定することを目的としています。



帝京大生を迎えての観光案内の実践



食の祭典(H26.3.16)の様子。大勢のお客さんにぎわいました

今後の観光まちづくりについて

観光を構成する要素は単に施設の魅力によるものではなく、そこにふれあう人の交流によるものと考えます。観光まちづくりワークショップにより素地が構築された官民協働のまちづくりを今後更に展開し『歩きたくなるまち・小幡』の実現に向けた取り組みを積極的に進めていきたいと思っております。

